

## ○議案第14号 令和2年度守口市一般会計予算

### □□□審議経過□□□

#### ＝市民環境委員会委員長報告＝

御報告申し上げます。

本委員会といたしましては、あらゆる角度から検討を加え、慎重に審査を行いました結果、次に申し述べます希望意見を付し、賛成多数をもって、これを原案どおり可決すべきものと決した次第であります。

なお、杉本委員におかれましては、ごみ収集業務の全面委託や指定管理者による図書館の運営は認められないなどの理由から、反対の意を表明されましたことを付言いたします。それでは、本委員会が付した希望意見を申し述べます。

第1点、公募型協働事業提案制度については、これまでも指摘してきたところであるが、今一度、公募に当たって適時適切に制度の十分な周知を行われないこと。また、不採択となった提案の申請者も市民協働への関心が高いと考えられることから、審査で出された改善点等の意見を細やかに伝え、再度の提案へと繋げていくなど、市民協働の意識の醸成がより一層図られるよう取り組まれないこと。

第2点、オリンピックホストタウン事業におけるガンビア共和国選手団の受け入れについては、スポーツ分野だけでなく、教育や文化など、さまざまな面での交流を通じて、本市における国際交流の発展に繋がるよう取り組まれないこと。

第3点、インバウンド等観光事業については、交流人口の増加など、にぎわいの創出を図る観点から、例えば、外国人への史跡等の紹介など、さまざまな機会をとらえ市のPRに努められないこと。また、観光マップについては、配付等による効果の検証を行うとともに、配付場所の検討やホームページ等による情報の発信に工夫を凝らすなど、引き続き市の認知度向上や魅力発信につながるよう取り組まれないこと。

第4点、工業活性化支援補助金については、事業者等のニーズを酌みとり、新たに市独自に補助金制度を創設されたことは一定評価できるものである。今後、商工会議所等の関係機関を通じて、事業者に対し積極的に働きかけ、当該補助金が有効に活用されるよう努められないこと。また、従業員の高齢化や若者の雇用の確保など事業者が直面しているさまざまな課題に寄り添いながら、引き続き、関係機関とも連携を図り支援に取り組まれないこと。

第5点、避難所環境の改善を図るため、これまで配備された備蓄品について、備蓄量や使用期限など、効率的に把握できる手法について研究を深めつつ、有事に備え管理を徹底されたいこと。また、女性などへのプライバシーの保護や乳幼児連れの方への支援の観点からも、幅広い視点でもって引き続き備蓄品の充実に努められないこと。なお、今回新たに配備される段ボールベッド等は、主に要配慮者の使用を想定しており、数が限られていることから、混乱のないよう、避難所開設時における具体的な活用方法について検討を加えられたいこと。

第6点、スポーツ関係団体補助金については、これまで事業費補助へと見直しを図ってきたところであるが、今後とも市民の健康・体力づくりのため、スポーツの普及振興を図ることは重要であるため、当該補助金制度の趣旨も踏まえ、より幅広い活動が対象となるよう研究されたいこと。

以上委員長報告といたします。

#### ＝福祉教育委員会委員長報告＝

御報告申し上げます。

本委員会といたしましては、細部にわたり検討を加え、慎重に審査を行いました結果、次に申し述べます希望意見を付し、満場一致をもって、これを原案どおり可決すべきものと決した次第であります。それでは、本委員会が付した希望意見を申し述べます。

第1点、生活保護について、扶助費全体の約二分の一を占めている医療扶助費については、お薬手帳へのステッカー貼付や かかりつけ薬局の明記の指導など、重複調剤の抑制に係る取り組みを

強化するとのことであるので、被保護者のプライバシーにも配慮しつつ、医療費の適正化に取り組まれないこと。また、以前から指摘しているように、訪問等による生活実態の調査・把握や、自立支援への指導など、各ケースに応じたきめ細やかな対応が重要であることから、人員体制にも意を配しつつ、より適正な生活保護行政に当たられたいこと。

第2点、全戸配布を予定している健康寿命延伸啓発冊子についてであるが、生活習慣病やロコモティブシンドロームなどについては、未然防止の観点が重要である。よって、高齢者はもちろんのこと、いわゆる中高年と言われる世代の市民にとっても健康づくりの意識がより高まるような紙面づくりに意を配するとともに、今後時機を見て啓発効果の検証・確認も適切に行われたいこと。

第3点、令和3年度から市内の民間こども園等に就職する保育士への就労促進給付金の支給を民間園との協働で実施し、令和2年度については制度の周知を行うとのことであるが、国の無償化施策の開始に伴う全国的な保育ニーズの増加により、人材確保は喫緊の課題であることから、大阪府の事業も活用するなど、潜在保育士の掘り起こしも含め、官民協力して保育士の確保を図り、幼児教育・保育の安定的な提供に努められたいこと。

第4点、もりぐち児童クラブの入会児童室については、今年度から運營業務委託を実施し、開設時間延長等のサービス拡充が図られたところである。しかしながら、事業実施主体が民間事業者となったことで、保護者からはクラブ運営に対して様々な意見も寄せられていると聞き及んでいる。よって、事業者と保護者との信頼関係が構築され、円滑な事業実施が行われるよう、市としても利用者の声に耳を傾けて適切に実態把握を行うとともに、事業者への指導等を徹底されたいこと。

第5点、中学校の部活動指導員については、今年度、市立中学校2校に1名ずつ試行配置し、専門的な技術指導の実施や教員の負担軽減などの効果が出ているところである。新年度から全校配置を行うことから、今後、各学校からの意見や実態を踏まえ、部活動指導員のより有効な活用の方途を見出していかれたいこと。また、これまで社会人など外部人材の協力も得ながら部活動の実施を行ってきたところであるが、教育委員会としては、学校統合や生徒数の減少などの実情を踏まえ、引き続き柔軟な視点でもって、生徒にとってより良い部活動のあり方について研究・検討を重ねられたいこと。

以上、委員長報告といたします。

## ＝総務建設委員会委員長報告＝

御報告申し上げます。

本委員会といたしましては、あらゆる角度から検討を加え、慎重に審査を行いました結果、次に申し述べます希望意見を付し、満場一致をもって、これを原案どおり可決すべきものと決した次第であります。

なお、梅村委員におかれましては、議会タブレット端末導入事業など懸念はあるが、市民のための市政運営に必要な予算であるとの理由から、賛成の意を表明されましたことを付言いたします。それでは、本委員会が付した希望意見を申し述べます。

第1点、にぎわい交流施設 最適配置調査事業については、守口市駅前周辺へのホール機能を誘導するという考えのもと、予備調査を実施するとのことであるため、現実的かつ多角的な視点でもって、事業手法や事業経費等の研究を行い、今後、実現可能性のある方針策定へとつなげられるよう取り組まれたいこと。

第2点、法律相談については、弁護士相談を中心に需要が高い状況となっている。近隣市では、週に複数の相談日を設けているなどの例も見られることから、引き続き利用状況を分析しつつ、市民が利用しやすい相談体制について研究を重ねられたいこと。

第3点、道路の改修等については、路面下空洞対策工事などの安全対策を進めているところであるが、依然、路面の経年劣化などに対処すべき箇所は数多く存在している。超高齢社会を迎える中、安全な道路環境を整えていくため、財政的な面も考慮しつつ、引き続き 迅速な補修と 計画的かつ着実な改修工事の実施に努められたいこと。

第4点、民間バス事業者による路線の見直しや急速な高齢化の進展もあいまって、全域が市街化されている本市においても、将来、高齢者などのいわゆる交通弱者の問題が顕在化する恐れがある。今後、開催を予定している地域公共交通のあり方研究会においては、他自治体の方策や実態などに詳しい有識者の知見を十分に生かすとともに、この間、充実を図ってきたコミュニティバスの現状なども踏まえ、福祉施策的な視点も持ち合わせながら議論を深め、課題解決への道筋を見出すこと

ができるよう努められたいこと。なお、コミュニティバスの委託事業者に対しては、事故の未然防止を図る観点から、今一度、安全運行に向けた運転手への指導、注意喚起を徹底するよう働きかけられたいこと。

第5点、良好な都市環境の創出やまちの防災性の向上などを図るため、公園整備に係る各種の事業が予定されているところである。その中で、まず、大日公園の再整備については、図書館隣接地という特色を生かした公園となるよう、図書館の指定管理者をはじめ関係部局との協議を密にし、設計の具体化に向け取り組まれたいこと。また、旧よつば小学校跡地における防災機能も有した多目的な公園の整備については、旧小学校の体育館を一時避難所として活用するため、老朽化などの現況を十分に確認したうえで改良を行い、有事に備え万全を期されたいこと。また、体育館内に地域での中核的な備蓄倉庫を設置する予定であるため、危機管理部局とともにその機能について検討を行い、設計を進められたいこと。

以上、委員長報告といたします。